

攝津電機工業株式会社

2021 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2021 年4月1日～ 2022 年3月31日)



作成日： 2022年4月6日
更新日： 2022年5月13日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業内容の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10



□ごあいさつ

攝津電機工業株式会社は、電機設備分野で人と技術の調和をはかり、「お客様に価値ある製品を提供する」ことにより社会に貢献する会社です。社会の公器たる企業においては、社会的な存続価値がなければなりません。

我社は工場自動化システムによる生産性向上の領域と受変電設備・電気設備工事等の社会インフラ関連の領域にてこれからも社会に貢献してまいります。

また、社員一人一人が仕事を通じて自らの能力と人間性を向上させることにより、企業の持続的な発展が維持出来ると確信しております。

お客様に価値ある製品の提供とプロフェッショナルな社員の育成に全力で取り組むことにより、存在感のある企業としてお客様を初め関係会社様とともに成長し続けられるよう努めてまいります。

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、「顧客に価値あるものを提供する」ことにより社会に貢献し、企業として持続的に発展することを目的とする。

当社の事業活動である配電盤・制御盤の設計製作および電気工事事業において、地域ならびに地球環境に与える影響を常に考慮し、積極的に環境経営に取り組み、環境負荷の継続的な削減に取り組むことを、当社の使命とする。

この使命を果たすために、当社は以下の行動指針に従って環境改善活動を行う。

<環境保全への行動指針>

- 1．事業活動の全領域において経営目標に適合し、環境に配慮した省資源・省エネルギーを推進する。
- 2．環境関連における法律、規制、規程および顧客要求を順守する。
- 3．社員一人ひとりが自己啓発し、環境保全行動を実施する。
- 4．環境改善目標を定め、環境負荷の低減を継続的に取り組み、活動結果を公表する。
 - ① CO2排出量削減
 - ② エネルギー使用量低減
 - ③ 廃棄物排出量削減
 - ④ 総排水量の削減
 - ⑤ グリーン購入の推進
 - ⑥ 製品・サービスへの環境配慮
 - ⑦ コピー紙の削減
 - ⑧ 化学物質の適正管理

制定日：2020年7月2日

代表取締役社長 賀内 一彦

□組織の概要

更新日：2021年4月13日

(1) 名称及び代表者名

攝津電機工業株式会社
代表取締役社長 賀内 一彦

(2) 所在地

本社 大阪府箕面市稲6丁目2番1号
大阪支店 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目5番16号 肥後橋MIDビル5階
神戸支店 兵庫県神戸市中央区八幡通3丁目2番5号
川西工場 兵庫県川西市石道久保ノ上166番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 常務取締役 阪田 圭司 TEL：06-6443-4977
担当者 総務部 宇賀 正樹 TEL：072-727-7151

(4) 事業内容

配電盤・制御盤の設計・製造管理、電気機器の据え付け工事管理

(5) 事業の規模

売上高 17億3千万円

	本社	大阪支店	神戸支店	川西工場	合計
従業員 名	51名	3名	2名	5名	61名
延べ床面積 m ²	1880.56 m ²	66.03 m ²	44.21 m ²	445 m ²	2,436 m ²

(6) 事業年度

4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

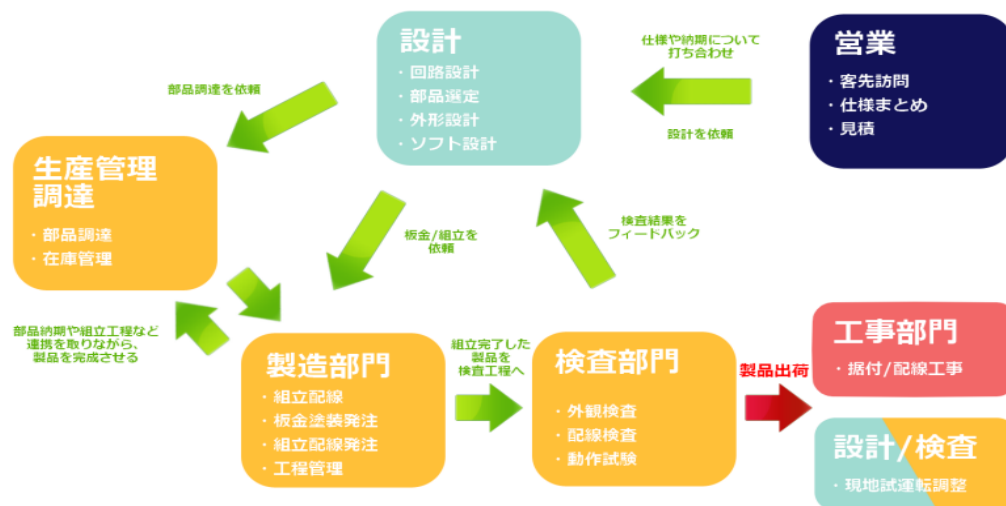
登録組織名： 攝津電機工業株式会社
対象事業所： 本社

大阪支店
神戸支店
川西工場

対象外： なし
活動： 配電盤・制御盤の設計・製造管理、電気機器の据え付け工事管理

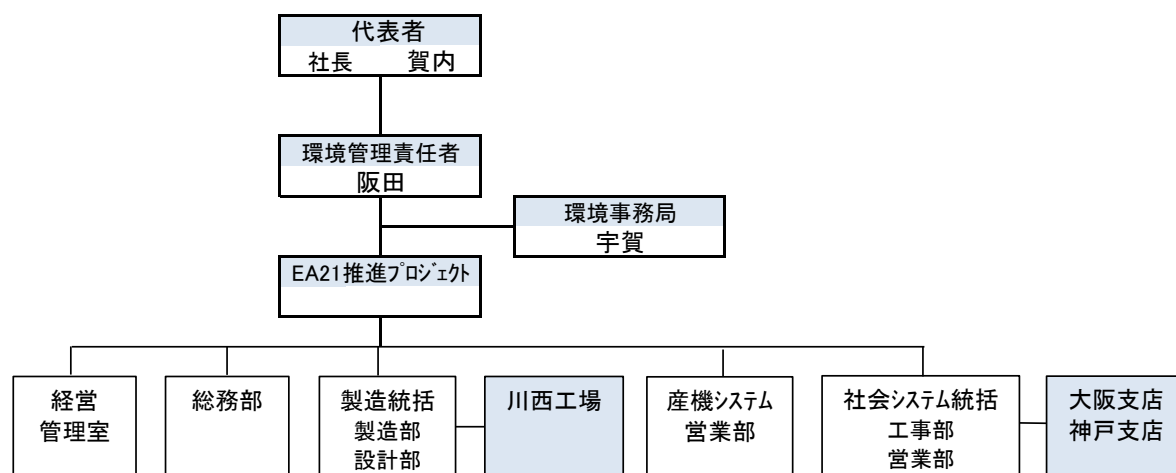
□事業内容の紹介

電気設備、計装設備、受配電盤・制御盤の設計製作等、あらゆる電気設備に関わるご相談に対応できるよう、優秀なスタッフを置き、業務に励んでおります。
省力化や効率化のサポート役として、先進の技術で工場の生産設備、各種のプラントへ、制御の技術を軸にお客様のニーズに従って、ソフト及びハードの設計から製作まで一貫して行います。
ライフラインに密着した上下水道、道路、河川、ダム設備などのインフラを、信頼される技術で制御盤の設計製造から据え付け電気工事までトータルサポートで、製品、技術を提供させていただきます。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年4月3日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・EA21推進プロジェクトの事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
EA21推進プロジェクト	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	90,046	109,879	118,695
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	3,000	3,254	3,053
産業廃棄物排出量	kg	4,688	9,244	5,269
水使用量	m ³	462	482	462

※二酸化炭素排出係数 0.351 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※二酸化炭素総排出量には、灯油及びLPGによる排出量を含む

※2019・2020年の二酸化炭素排出係数は0.522kg-CO₂/kWhを採用していたが、
2021年に0.351kg-CO₂/kWhへ変更したことに伴い便宜上変更している。

□環境経営目標及びその実績

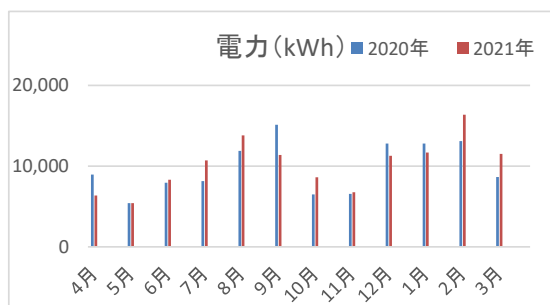
年 度 項 目		基準値	2021年		評価	2022年	2023年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	40,648	39,835	42,893	×	39,429	39,022
	基準年度比	2020年	98%	106%		97%	96%
原単位（売上高による）	kWh/千円	0.075	0.074	0.071	○	0.073	0.072
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	66,943	66,274	73,727	×	65,605	64,935
	基準年度比	2020年	99%	110%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	107,592	106,109	116,621		105,034	103,958
一般廃棄物の削減	kg	3,254	3,221	3,053	○	3,189	3,156
	基準年度比	2020年	99%	94%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	9,100	9,009	5,250	○	8,918	8,827
	基準年度比	2020年	99%	58%		98%	97%
水道水の削減	m ³	482	477	462	○	472	468
	基準年度比	2020年	99%	96%		98%	97%
コピー用紙の削減	枚	452,500	434,400	371,500	○	429,875	425,350
	基準年度比	2020年	96%	82%		95%	94%
製品・サービスへの環境配慮	件	107	113	122	○	118	123
	基準年度比	2020年	105%	114%		110%	115%

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

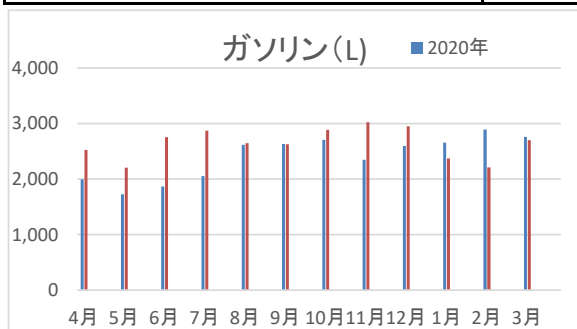
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	基準年比105%で着地
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	大阪支店の移転に伴う電気使用量の増大があるためのもので、基準年の変更を検討する余地あり。
・不要照明の消灯	○	大阪支店を除いた場合は基準値に対し96%の結果で目標値もクリアしていることから、節電の効果は見える。



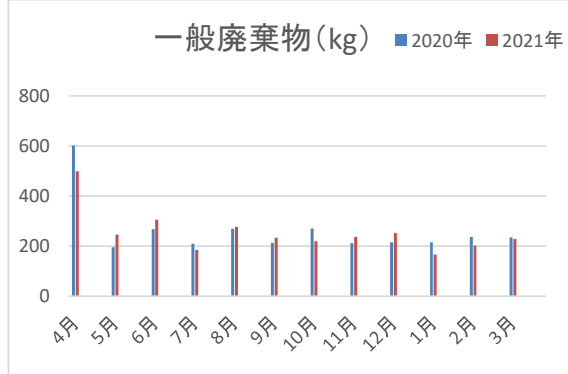
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	8,963	5,431	7,955	8,160	11,877	15,130	6,497	6,547	12,800	12,800	13,106	8,666
2021年	6,345	5,405	8,318	10,695	13,801	11,386	8,629	6,752	11,293	11,687	16,371	11,522

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	営業活動の拡大のため社用車を1台追加したこと、コロナ禍対策の社有車通勤の継続及び出張時の社有車での移動により、目標未達成となった。
・アイドリングストップ	○	来期目標達成のため、3月にエコドライブ講習会を開催しエコドライブの理解を深める手を打った。
・効率的なルートでの運搬	○	
・エコドライブの教育計画	○	
・車両更新時に低燃費車を選択	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	1,992	1,723	1,867	2,054	2,615	2,632	2,704	2,347	2,597	2,656	2,891	2,757
2021年	2,525	2,206	2,755	2,871	2,643	2,626	2,884	3,021	2,947	2,371	2,209	2,698

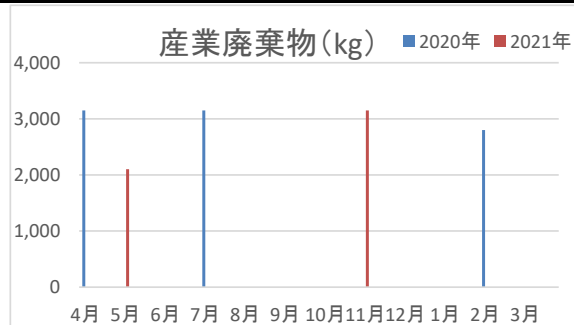
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	1年を通してしっかりとゴミの分別とゴミ出しの際の意識づけが成果としてあらわれた。来期もこのスタンスで引き続き取り組む。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



・4月は異動などの組織変更に伴う増加

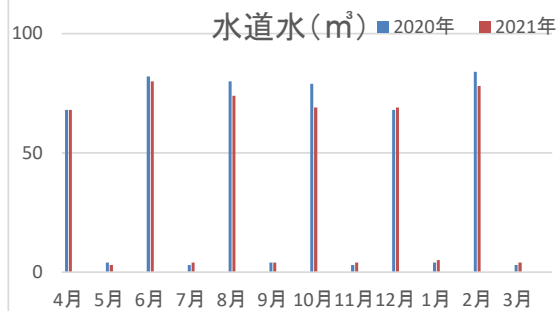
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	602	196	267	209	269	213	271	212	216	216	237	235
2021年	499	245	306	184	278	234	220	237	252	167	202	229

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	電線や半導体不足をはじめとした部品不足があり、廃棄対象のものをより精査し再利用できるものは再利用するなど実施し、結果として産業廃棄物の量が減少した。
・分別の徹底	○	
・梱包材の再利用（木材）	○	
・現場事務所備品のレンタル品検討	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	3,150	0	0	3,150	0	0	0	0	0	0	2,800	0
2021年	0	2,100	0	0	0	0	0	3,150	0	0	0	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	社員ひとりひとりの節水に対する意識づけができた結果、目標削減率を達成できた。来期も同様の取組を続ける。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・定期的な上下水道使用量の確認	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	68	4	82	3	80	4	79	3	68	4	84	3
2021年	68	3	80	4	74	4	69	4	69	5	78	4

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	—	グリーン購入対象商品の購入を拡大できた。
・エコタイヤ（交換用）の購入確認	○	
・工事材料（エコケーブル）の使用推進	○	
・事務用品グリーン製品導入	○	

コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・プリンター用紙の購入数を把握する	○	業務変革によるペーパレスの促進の結果があらわれている。来期も引き続き同様の取組をする。

製品・サービスへの環境配慮	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・省エネ機器の採用	○	客先の理解を得ることで、エコ電線の使用を推進できた。次年度も取り組みを継続する。
・再生資源の利用	○	
・省資源設計の提案(既成BOXの利用等)	○	
・省エネ設計の提案 (Ex. INV等)	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
フロン排出抑制法	業務用空調機
グリーン購入法	備品調達

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

本年度において苦情等の実績はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 地震による灯油の漏洩事故発生	
■実施日： 2021/9/8 16:00～16:30	■実施場所： 箕面本社
■参加者： エコアクション21推進委員会メンバー 7名	
■実施内容： ☒ 応急措置 ☒ 事後保全 ・地震の発生に伴う灯油漏洩事故を想定しての訓練を実施 ① 水を流して、会社横を流れる川への導線に変化がないか確認 ② 灯油の代わりに水13ℓを流し、導線上に吸着マットを使用しての実地訓練 ③ 保管庫の事後保全 ④ 処置後の廃品の廃棄確認	
■評価： 良 今回は地震という比較的気づきやすい状況を想定しての灯油の漏洩事故に対する応急措置訓練を実施した。導線の確認から吸着マットを使用しての応急措置まで事前の打合せどおり対応できた。	
【課題】 ・休日の対応 … 防油堤の設置を検討 ・備品の備蓄 … ゴム手袋、ゴム長靴等の複数常備 油吸着分解剤の導入検討 ・保管の方法 … 容器の下敷きとして、吸着マットやトレイを検討	
■実施状況の様子	
	

導線上に吸着マットを敷き、川への漏洩を防ぐ訓練

灯油の代わりに水を流して、会社横を流れる川への導線の確認をしています。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2022年5月13日

2021年度については、昨年に続き新型コロナウイルス感染防止対策による社用車通勤の許可及び出張時に公共交通機関の使用を極力減らし社用車での移動を推奨、大型工事件名の人員増などにより自動車燃料の削減が目標値に達していません。また、昨年より各部品の長納期化により各業務の生産効率が悪化しており使用電力の増加につながり電力の削減も目標値を上回ることとなりました。業務変革プロジェクト及び社内ネットワーク改善の成果として、ネットワークの再構築と文書管理ソフトの導入でコピー紙の使用は削減することができています。

社員のエコアクションに対する意識の浸透は出来ており、省エネ及びごみの分別と削減は各社員が意識できるようになっています。2022年度は、エコアクションの意識向上に向けた取り組みを実施し、さらなる環境負荷の低減に取り組み環境経営を推し進めてまいります。

代表取締役 賀内 一彦

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

会社周辺を清掃しています。

当社では毎月初めの8:45～9:30の間、社内清掃を実施しております。環境美化の一環として、会社が面する道路にまで範囲を広げ、おもに吸殻やポイ捨てゴミを拾っています。

周辺清掃を始めた当初は、多量のゴミが散見されておりましたが、取り組みを実施してからは、拾うゴミの量も段々と減少しています。

今後も周辺清掃を続け、環境を維持して行きたいと考えております。

